

徳島県にし阿波地域 「にし阿波の傾斜地農耕システム」



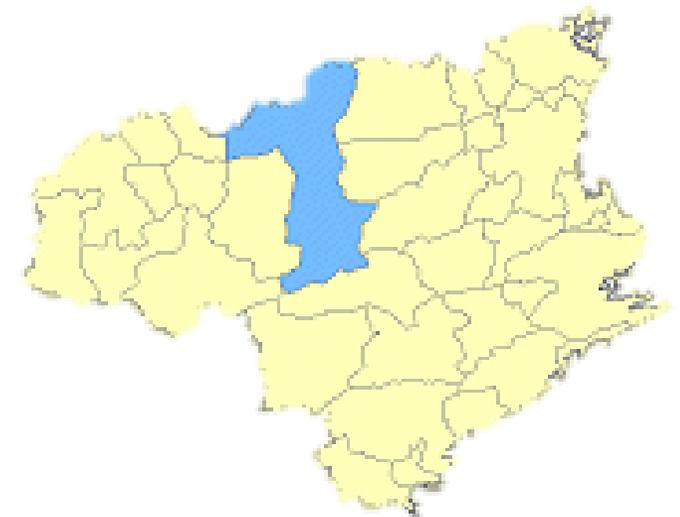
徳島県立脇町高等学校

森 翔梧 中西 友奏 中妻 幸奈

1. 本校の紹介



- 創立 1896年
- 所在 徳島県美馬市
(西部の中山間地域)
- 特徴 県西部の進学校
SSH指定校
- 生徒数 487名 1学年:5クラス



SSH・・・国際的に活躍できる科学技術人材育成のために文部科学省が全国約200校を対象に研究開発校として指定,予算的支援有

2. 取組の紹介① 探究部による聞き書き調査



聞き書きとは・・・語り手の話した言葉をそのまま書き止め、その人生を受け止めて、それを作品としてまとめていく作業のこと

<昨年度日程>

- ・ 第1回聞き書きワークショップ
- ・ 聞き書き調査①②
- ・ 第2回聞き書きワークショップ
- ・ 第3回聞き書きワークショップ
- ・ 農業遺産シンポジウムでの発表

令和4年7月20日（水）
令和4年7月～8月 令和5年1月
令和4年11月17日（木）
令和4年1月18日（水）他
令和5年3月11日（土）



図1 取材の様子①



図2 取材の様子②



蕎麦打ち名人 都築さん

おばちゃんはここで住んでる。おばちゃんは77歳やけん
なう。娘が50なんほかぐらいで、孫が28歳やな。ひ孫が2歳。
蕎麦作り始めて45年になった。その前はパン屋さんし
よったんやけど、時代が変わって、明石大橋とか瀬門大橋
とか架かったでえ。そしたら、山の中まで大手業者がやって
来て、そしたらおばちゃんのパンなんか売れんようになって
しつてえ。ほんで、どうしたらええかと思える時に、地元の
女の人も出稼ぎに行き始めた。そしたら、手廻りのかかる
蕎麦とか豆腐とかこんやくとかを家庭でせんようになっ
たんよな。それで、蕎麦をしたらひよとして祖谷で生活で
きるんやないかと思っって蕎麦を始めたんよ。子供の時に
母親から習ったからな。母親も元気だったから手伝っ
てもらって、それで、店に持って行ったんよ。そしたら売れる
んよ。そして、祖谷で蕎麦を作って売って生活できる時代
になったんよ。それからずっと45年。ほいなら、地元だけでな
くて、池田周辺のスーパーとか飲食店とかに加したら、毛
配で全国へ配達したりな。そういう風にいけよった。



美味しそうな蕎麦



プロの手きそば

図3 完成した作品の一部

3. 取組の紹介② SSH課題研究



研究テーマ

にし阿波地域における「傾斜地農耕システム」の科学的検証

傾斜地農耕システム ・ ・ ・ 急傾斜地にカヤを敷きこむことで
段々畑を作らず、斜面のまま耕作
をする独自の農法

研究目的

→ カヤの土壌保水効果を検証



図4 農地で利用されるカヤ

3. 取組の紹介② SSH課題研究



実験① 実際の農地での土壌水分量の測定

(実験方法)

- ・ リモートセンシング技術を用いてカヤの敷きこまれた農地とカヤのない農地で水分量を比較



図5 設置したセンサー

(実験結果)

- ・ 図6のグラフにあるように降雨後にカヤがある農地の土壌水分量は減少幅が小さくなっている。

* オレンジがカヤあり、青がカヤなし

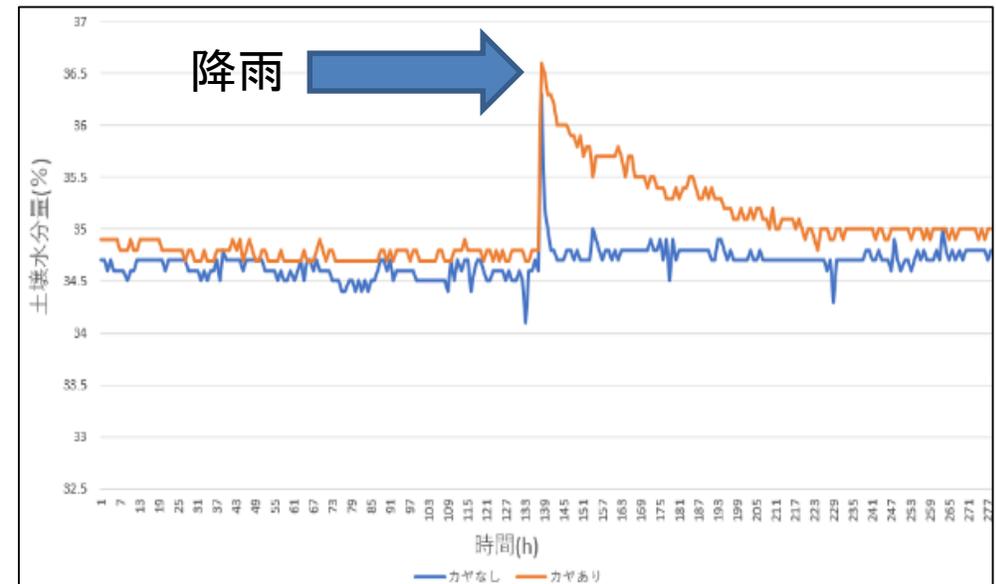


図6 土壌水分の変化量 5

3. 取組の紹介② SSH課題研究



実験② カヤの設置方法による保水力の測定

(実験方法)

- ・カヤを土と混ぜただけのものとカヤを土に混ぜさらに上からかぶせたものの水分減少量を比較

(実験結果)

- ・図8のグラフにあるようにカヤを混ぜて上からかぶせた方が保水力が大きい。



図7 実験の様子

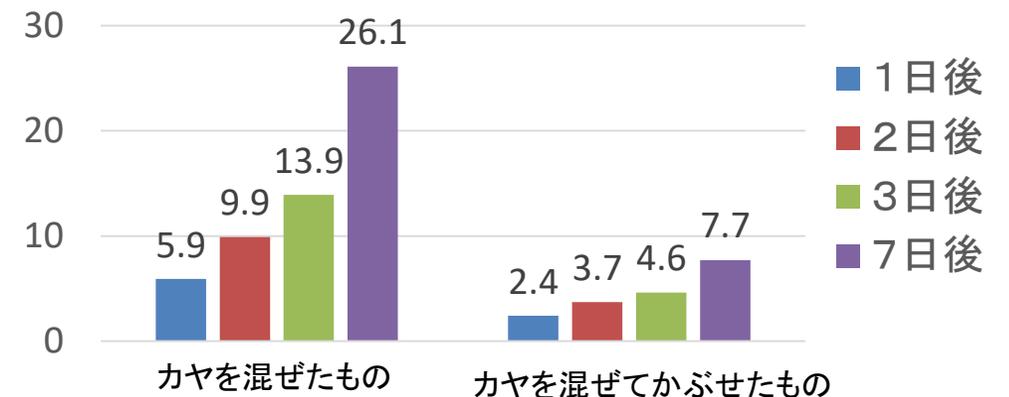


図8 ビーカー内の水分減少量